



プラスチック資源循環に資する 食品容器包装事例集



農林水産省

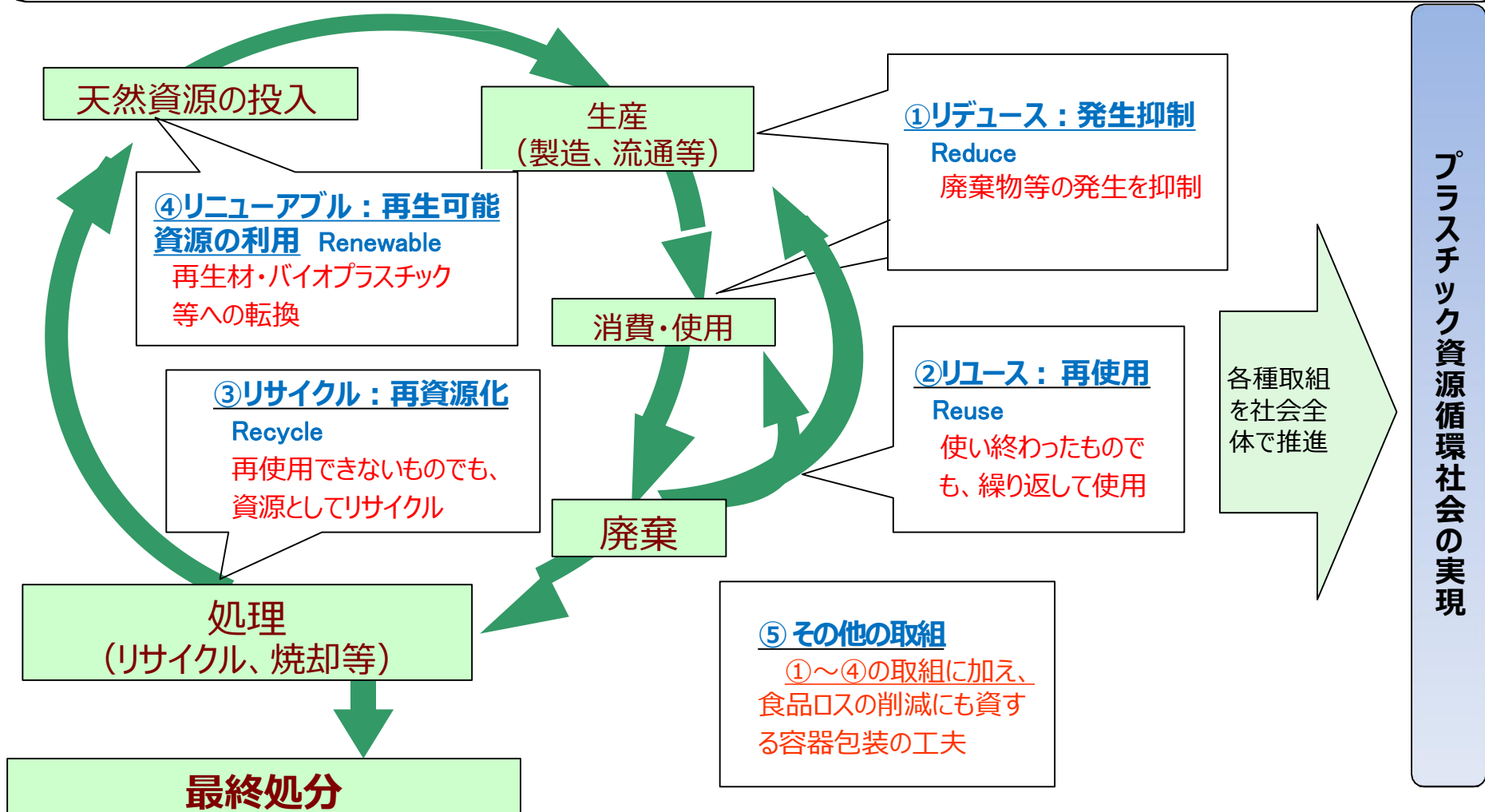
食料産業局バイオマス循環資源課
食品産業環境対策室



食べものに、
もったいないを、
もういちど。
NO-FOODLOSS PROJECT

(ろすのん)

プラスチックの発生抑制と適正な循環的利用により、プラスチックの消費を抑制し、環境への負荷の低減に資する、下図①～⑤の食品容器包装に係る取組事例を紹介いたします。





森永製菓株式会社	4	敷島製パン株式会社	15
-----		-----	
日清食品ホールディングス株式会社	8	雪印メグミルク株式会社	16
-----		-----	
株式会社明治	9	アサヒグループホールディングス株式会社	19
-----		-----	
日本水産株式会社	10	アサヒ飲料株式会社	21
-----		-----	
味の素株式会社	11	日本コカ・コーラ株式会社	22
-----		-----	
リスパック株式会社	14		

「i nゼリー」プラスチック使用量削減 バイオマスインキ使用

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・環境に配慮した取り組みの一環として、「i nゼリー」の6品を対象にキャップ+ストロー部分のプラスチックを軽量化しました。キャップを開けやすくした上で、使用量を従来比約9%削減しました。（約70トン/年）
- ・「i nゼリー」全品を対象に、印刷に使用しているインキの一部をバイオマスインキ（原料の一部に被子植物の種から抽出した成分を使用したインキ）に変更しました。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・プラスチックを軽量化した商品を2020年2月から販売開始。2020年3月からバイオマスインキに変更。
- ・コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパー等で販売。

①キャップ+ストロー部分

プラスチック使用量約9%削減

2020年2月製造～

②印刷の一部で、

バイオマスインキ使用

2020年3月製造～



※さらに！キャップが開けやすく

お客様の使いやすさを考え、キャップを開けることが、より少ない回転で可能になりました。

〈 商品底面〉



その他5商品の写真掲載



森永製菓 包装材の環境配慮

<https://www.morinaga.co.jp/company/csr/environment/package.html>

「ガトーショコラ」プラスチックフィルムの使用量削減

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ 包装機械を改善・調整して、従来品よりピロー包装を縮寸しました。
- ・ プラスチックフィルムの使用量を従来よりも約 4 %削減しました。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2020年 2月販売開始
- ・ コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパー等で販売



森永製菓 包装材の環境配慮

<https://www.morinaga.co.jp/company/csr/environment/package.html>

〈改善品〉



「ハイチュウプレミアム」プラスチックフィルムを薄肉化

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ 材質構成を見直して、菓子の品質と耐輸送性を維持したままフィルムを薄肉化しました。
- ・ パウチに使用するプラスチックフィルムを、従来よりも約11%削減しています。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2020年2月から包装を改善した商品を販売
- ・ コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパー等で販売

〈改善品〉



森永製菓 包装材の環境配慮

<https://www.morinaga.co.jp/company/csr/environment/package.html>

「小枝」 バイオマスプラスチックフィルムを使用

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ 個包装フィルムの一部に、「バイオマスプラスチックフィルム」を使用しました。
- ・ バイオマスプラスチックフィルムに置き換えることで、石油由来プラスチックの使用量を約9%削減しました。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2020年9月から包装を改善した商品を販売
- ・ コンビニエンスストア、ドラッグストア、スーパー等で販売



森永製菓 包装材の環境配慮

<https://www.morinaga.co.jp/company/csr/environment/package.html>

〈改良品〉



※「バイオマスプラスチックフィルム」は原料の一部を植物由来の原料に置き換えたもので、石油由来プラスチックよりも製品ライフサイクル全体でCO2排出量の削減ができます。

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ バイオマス度80%以上を実現した環境配慮型容器で、
1カップあたりの石化由来プラスチックを従来比約50%削減
- ・ ライフサイクル全体で排出するCO₂を16%削減

〈 切替開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2019年12月から順次切り替えを開始
- ・ スーパーマーケットなど小売店を中心に展開



CUP NOODLES
EARTH FOOD
CHALLENGE

地球のために。未来のために。

貢献する
SDGs



～バイオマス度80%以上を実現したバイオマスECOカップの採用「カップヌードル」が発売50周年を迎える2021年度中を目途に、すべての「カップヌードル」ブランド容器が「バイオマスECOカップ」に切り替わる予定です。今後もバイオマス度の向上や石化由来プラスチックの削減など、さらなる環境負荷低減に努めるとともに、SDGs達成にも貢献していきます。

明治プロビオヨーグルトドリンク・PETボトル軽量化

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ PETボトルを13.0gから8.7gへ軽量化（ボトルの薄肉化）
- ・ プラスチック使用量削減（単重で約33%削減） およびコストの削減

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2002年発売開始、8.7gボトルは2017年から導入開始（順次切替え中）
- ・ 全国の手大量販店、コンビニなどで販売
- ・ さらにプラスチック資源循環の取り組みを強化し、2030年度までにプラスチック容器包装を25%以上（2017年度比）削減を目指します。

<https://www.meiji.com/sustainability/>

明日をもっとおいしく
meiji



4.3g／本
(約33%) 削減



発売当初（2002年）
ボトル重量：13.0g／本

2017年
ボトル重量：8.7g／本

※ボトル重量：キャップは含まない

環境に配慮した商品設計や容器包装の軽量化

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・改善点：家庭用冷凍食品と家庭用加工食品を対象とし、外装フィルムの横幅短縮と薄肉化を行った
- ・改善による効果：削減実績は、2017年度：4,738kg、2018年度：4,896kg、2019年度：15,630kg

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・2017年度～現在
- ・スーパーなど小売店

日本水産株式会社WEBサイト＞ 関連ページ
<https://nissui.disclosure.site/ja/themes/156>



	削減重量 (kg)	内 容
2018年度	4,896	【対象】 家庭用調理冷凍食品21アイテム、家庭用加工食品13アイテム 【取り組み内容】 外装フィルムの横幅短縮や厚みの薄肉化を行い、フィルム一枚当たりの重量を軽量化しました。
2019年度	15,630	【対象】 家庭用調理冷凍食品17アイテム、家庭用加工食品22アイテム 【取り組み内容】 外装フィルムの横幅短縮や厚みの薄肉化を行い、フィルム一枚当たりの重量を軽量化しました。

横幅10mm短縮
(0.14g/枚削減)

※薄肉化の実績はアイテム毎に異なる



「味の素®」、「ハイミー®」

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・「味の素®」30 g 袋、50 g 袋、100 g 袋、400 g 袋、「ハイミー®」35 g 袋、75 g 袋において、ガゼット袋を変形ピロー袋に変更することで、袋の自立機能を維持しつつ、包材使用面積を35%削減した。
- ・プラスチック使用削減量 21 t/年。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・2019年、全国の小売店、スーパーにて取り扱い。

Eat Well, Live Well.

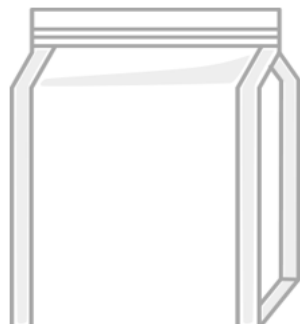


味の素株式会社

AJINOMOTO

プラスチック廃棄物削減の考え方について

https://www.ajinomoto.co.jp/company/jp/activity/keyword/plastic_waste.html



改良前

改良後



ガゼット袋

変形ピロー袋

「ピュアセレクト®」マヨネーズ

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ 容器を薄くすることによりマヨネーズのボトルに使用する樹脂を5%削減した。
- ・ 樹脂の10%にバイオマスポリエチレンを使用した。
- ・ プラスチック使用削減量 69.7 t/年。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2018年、全国の小売店、スーパーにて取り扱い。

Eat Well, Live Well.

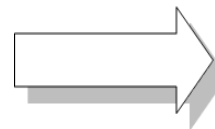


味の素株式会社



改良前

容器重量 16.1 g
(うちバイオマスPE 0 g)



改良後

容器重量 15.3 g
(うちバイオマスPE 1.6 g)

「グリナ®」、「アミノエール®」6本入りお試し品

〈容器包装の改善点、改善による効果について〉

- ・グリナ® 6本入りお試し品、アミノエール® 6本入りお試し品のピロー包装機に超音波シール方式を採用することにより、単層フィルムでのヒートシールを可能とした。これにより、ピロー袋をPETとポリプロピレンのラミネートフィルムからリサイクルしやすいポリプロピレン単一素材化を実現し、さらにプラスチック使用量を32%削減した。
- ・プラスチック使用削減量 0.2 t/年。

〈販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・2018年、通販サイト「Ajinomoto®ダイレクト」にて取り扱い。

Eat Well, Live Well.



味の素株式会社

〈従来品〉

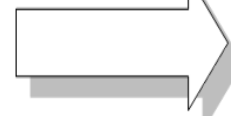
外側

PETフィルム

PPフィルム

内側（食品側）

改良前



改良後

〈改良品〉

外側

PPフィルム

内側（食品側）



本取組は、日本パッケージングコンテスト2019「経済産業省産業技術環境局長賞」、WorldStar Packaging Awards 2020「WorldStar賞」を受賞

バイオマスプラスチック製食品容器の製造

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・プラスチック製使い捨て食品容器の原料を、石油から植物由来に替え、使い勝手はそのままに環境負荷を低減します。
- ・日本では焼却されることが多いプラスチックごみですが、植物原料のプラスチックを焼却して出てくるCO2は、もともと植物が吸収したものであるため、大気中のCO2を増やしません。

〈主な取扱い場所等〉

- ・全国の食品スーパーやコンビニエンスストア等。生鮮品から弁当・惣菜まで、幅広くご使用頂いております。

〈今後の展開〉

- ・より幅広い商品にお使い頂けるよう、アイテム数を拡充します。2021年度2400アイテム目標。



「国産小麦」シリーズ

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ ①リデュース 薄肉化によりプラスチック廃棄量を削減（約23トン/年）
- ・ ④リニューアブル バイオマスプラスチックを含んだ包材の採用

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・ 2020年9月から
- ・ 総合量販店、スーパー、コンビニエンスストア 等



薄肉化
→
新素材



バイオマスプラスチック
を含んだ包材の使用を記載

●使用しているフィルムの一部に、
植物由来の原料を使用しています。

ナチュレ 恵 megumi フルーツヨーグルト シリーズ

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・プラスチック容器を薄肉化し、約6%減量化。
- ・年間約23tのプラスチック使用量削減。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等 〉

- ・2019年より随時切替、販売開始。

雪印メグミルクのCSRの取組み)

<https://www.meg-snow.com/csr/procurement/>



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク



ナチュレ 恵 megumi
白桃+グレープ 70g×4



ナチュレ 恵 megumi
ブルーベリー+いちご 70g×4



ナチュレ 恵 megumi
アロエ 2つのおいしさ 70g×4

機能性ヨーグルト ドリンクタイプ 各種

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・プラスチックボトルを約10%軽量化。
- ・年間約200tのプラスチック使用量削減。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・2018年3月より随時切り替え、販売開始。



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

雪印メグミルクのCSRの取組み)

<https://www.meg-snow.com/csr/procurement/>



従来のプラスチックボトルを
見直し約10%軽量化



恵 megumi ガセリ菌SP株
ヨーグルト ドリンクタイプ



乳酸菌ヘルベヨーグルト
ドリンクタイプ



恵 megumi ビフィズス菌SP株
ヨーグルト ドリンクタイプ

雪印メグミルク牛乳（瓶）



未来は、ミルクの中にある。

雪印メグミルク

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・牛乳瓶の樹脂キャップを約13%軽量化。
- ・年間約25tのプラスチック使用量削減。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・2019年度から随時切替、販売開始。
- ・宅配用

雪印メグミルクのCSRの取組み)

<https://www.meg-snow.com/csr/procurement/>

〈従来品〉



雪印メグミルク牛乳 180ml



樹脂キャップを約13%軽量化

〈改善品〉



食べられるコップ “もぐカップ”

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・独自の成形技術と素材配合によって、耐水性のある食べられるコップを開発。「使い捨て」から「使い食べ」をスローガンに、可食容器による使い捨てプラスチック容器の削減を提案。
- ・「コップを食べる」という楽しさで、ポジティブに脱プラスチックの取り組みを推進できます。
- ・国産じゃがいもでんぷんを主原料としており、それ自体が美味しく食べられるカップです。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等 〉

- ・2020年11月よりテスト展開を開始。一般販売時期は未定。※(株)丸繁製菓との共同開発。製造は丸繁製菓者。
- ・ご当地素材(地産地消)や健康素材の活用など、「使い捨て削減」以外のSDGs項目にも貢献します。



“使い捨て容器”から“使い食べ容器”という新しい食のライフスタイルを提案します。

Asahi

ふぞろいのストロープロジェクト参画

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・一般社団法人広域連携事業推進機構の一員として、「ストロー」の原点である、麦わらを活用した「麦わらストロー」の生産及び販売に挑戦します。国内の農家、福祉作業所、賛同する企業などと連携し、初年度1000万本の販売を目指しています。
- ・エコな取り組みであることに加え、農家や福祉作業所の収入にもつながる「地球のために使うストロー」です。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等〉

- ・公式HP： <https://fuzoroi.rpa.or.jp/>
- ・7月以降販売開始



「アサヒ ラベルレスボトル」シリーズ

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- ・ ケース販売専用の商品として「アサヒ ラベルレスボトル」シリーズを展開。ラベルをなくし、商品への記載が必要なリサイクルマーク（識別マーク）をタックシールやキャップに記載することでプラスチックの樹脂量を90%削減しました。なお、『アサヒ おいしい水』天然水 ラベルレスボトル」2品は完全ラベルレスを実現し100%削減。
- ・ ラベルをなくしたことで分別の際のラベルをはがす手間を省き、利便性に配慮。
- ・ 賞味期限の年月表示での印字により、食品ロス削減に寄与。

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等 〉

- ・ 2018年5月より、「ラベルレスボトル」シリーズを展開
- ・ インターネットによる通販サイト（Amazonジャパン、楽天（爽快ドリンク専門店）、LOHACO（アスクル）等）（※その他の情報（今後の展開等）についてもあれば記載してください。）

【従来品】

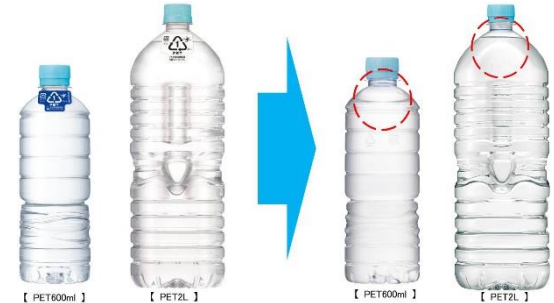


PETボトルに貼付したタックシールに、リサイクルマーク（識別マーク）等を表示。
（左2品は除く）



個別の記載ではなく、外装の段ボールにまとめて原材料名などの法定表示を記載することで、ラベルに使用していたプラスチック樹脂量の90%を削減しています。

【ラベルレス商品】



『アサヒ おいしい水』天然水 ラベルレスボトル」
PET600ml、2.0L
2020年4月識別表示に関する制度変更に伴い、タックシールの代わりにボトルに直接リサイクルマーク（識別マーク）を刻印することで、完全ラベルレスを実現。

「い・ろ・は・す 天然水など ラベルレス」

〈 容器包装の改善点、改善による効果について 〉

- User-friendly (人に優しい)
 - ✓ ラベルがなく、つぶしやすいので、リサイクルしやすい。
- Environment-friendly (環境にやさしい)
 - ✓ ラベルレスで、資源を節約。
 - ✓ 100% リサイクルペット使用。
 - ✓ ラベルレスでリサイクル工場への負荷が少ない。
- Stylish packaging (見たことのないデザイン)
 - ✓ 日本の清流を流れる天然水のイメージを、面取りによる屈折効果で表現
 - ✓ デボス加工のブランドロゴで、ミニマルなデザイン (い・ろ・は・す ブランドを最小限に表現)
 - ✓ ノーパネル、ノーリブによる新構造デザイン (縦や横のへこみのない新構造)

〈 販売開始時期、主な取扱い場所等 〉

- 2020年4月1日 (水) より
- オンライン中心 (ケース販売専用)
- 560ml PET × 24本入り



ラベルレス

100% リサイクル
ペット使用はそのままに。

ケース販売専用
はラベルレス

